

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 流域下水道事業

事業コード(H23-建-継-14)
箇所名 (鹿角市、小坂町)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	事業の必要性					
	区間与の必要性	法令等で県が実施する事業 県が実施すべき広域的な事業 県が実施した方が望ましい事業	5 3 1	5		
	県民のニーズ	一般県民を対象とした調査でニーズが高い 一般県民を対象とした調査でニーズを把握 一般県民を対象とした調査を行っていない	5 3 0	3		
	社会情勢によるニーズの変化	増大している 特に変化はない 低下している	5 3 1	5		
	計		15	13		
	緊急性	事業の重大さ				
		事業休止の影響	事業効果や効率性、周辺への影響等が大きい 事業効果や効率性、周辺への影響等は小さいが、施設の機能増強や や改築・更新等の老朽化対策が必要である。 事業効果や効率性、周辺への影響等は小さい	10 5 1	10	
他事業との関連						
流域関連公共下水道との関連		施設能力が不足するなど事業効果、効率性への影響が大きい 事業効果、効率性への影響は小さいが、維持管理のリスクは増大 事業効果、効率性への影響が小さい	10 5 1	10		
計			20	20		
有効性	事業の貢献度					
	水質保全効果	処理区域に関連する環境基準点の水質が向上 処理区域に関連する環境基準点の水質が横ばい 処理区域に関連する環境基準点の水質が悪化	10 5 0	10		
	有効利用	下水道資源の有効利用が図られている 下水道資源の有効利用が検討されている 下水道資源の有効利用が検討されていない	5 3 0	3		
	上位計画での位置付け					
	みちのく下水道ビジョン	ビジョンの施策目標値(H24)達成に寄与する ビジョンの施策の基本方針に適合する ビジョンの各施策とは別のその他関連事業である	5 3 1	5		
	計		20	18		
効率性	事業の投資効果等					
	費用便益費 (B/C)	1. 0 以上 1. 0 未満	10 0	10		
	事業実施コストの縮減	維持管理費も含め十分なコスト縮減が図られている コスト縮減が不十分であり、今後さらに検討する必要がある コスト縮減が図られていない	10 5 0	10		
	計		20	20		
熟度	事業進捗に関する事項					
	進捗率	事業計画に定めた必要な工事費が執行できている 事業計画に定めた必要な工事費が執行できていないが、事業の進捗 に影響がない 事業計画に定めた必要な工事費が執行できず、事業の進捗に影響を 及ぼしている	10 5 0	10		
	施設の供用状況	事業計画に定められた処理能力が確保されている 事業計画に定められた処理能力が確保されていないが、関連公共下 水道からの流入に支障がない 事業計画に定められた処理能力が確保されていない	5 3 0	5		
	今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調に推移する 課題はあるが当面進捗に影響はない 課題解決の見込みがない	10 5 0	5		
	計		25	20		
合計			100	91		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 流域下水道事業

事業コード(H20-建-継-7)
箇所名 (鹿角市、小坂町)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	事業の必要性					
	関係互の必要性	法令等で県が実施する事業 県が実施すべき広域的な事業 県が実施した方が望ましい事業	5 3 1	5		
	県民のニーズ	一般県民を対象とした調査でニーズが高い 一般県民を対象とした調査でニーズを把握 一般県民を対象とした調査を行っていない	5 3 0	5		
	社会情勢によるニーズの変化	増大している 特に変化はない 低下している	5 3 1	5		
	計		15	15		
	緊急性	上位計画での位置づけ				
		あきた21総合計画	施策目標の中核事業である 施策目標達成のために必要な事業である 施策目標とは別のその他関連事業である	5 3 1	5	
事業の重大さ						
事業休止の影響		事業効果や効率性、周辺への影響等が大きい 事業効果や効率性、周辺への影響等は小さいが、施設の機能増強や 改築・更新等の老朽化対策が必要である。 事業効果や効率性、周辺への影響等は小さい	10 5 1	10		
他事業との関連						
流域関連公共下水道との関連		施設能力が不足するなど事業効果、効率性への影響が大きい 事業効果、効率性への影響は小さいが、維持管理のリスクは増大 事業効果、効率性への影響が小さい	10 5 1	10		
計			25	25		
有効性	事業の貢献度					
	水質保全効果	処理区域に関連する環境基準点の水質が向上 処理区域に関連する環境基準点の水質が横ばい 処理区域に関連する環境基準点の水質が悪化	10 5 0	5		
	有効利用	下水道資源の有効利用が図られている 下水道資源の有効利用が検討されている 下水道資源の有効利用が検討されていない	5 3 0	3		
	計		15	8		
	効率性	事業の投資効果等				
費用便益費 (B/C)		1. 0 以上 1. 0 未満	10 0	10		
事業実施コストの縮減		維持管理費も含め十分なコスト縮減が図られている コスト縮減が不十分であり、今後さらに検討する必要がある コスト縮減が図られていない	10 5 0	10		
計			20	20		
熟度		事業進捗に関する事項				
	進捗率	事業計画に定めた必要な工事費が執行できている 事業計画に定めた必要な工事費が執行できていないが、事業の進捗 に影響がない 事業計画に定めた必要な工事費が執行できず、事業の進捗に影響を 及ぼしている	10 5 0	10		
	施設の供用状況	事業計画に定められた処理能力が確保されている 事業計画に定められた処理能力が確保されていないが、関連公共下 水道からの流入に支障がない 事業計画に定められた処理能力が確保されていない	5 3 0	5		
	今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調に推移する 課題はあるが当面進捗に影響はない 課題解決の見込みがない	10 5 0	5		
	計		25	20		
	合計			100	88	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		